

# 家庭調書

※4月1日現在で記入してください。

申請者	氏名	学科	学年	学籍番号			
	学生住所 〒	(自宅・自宅外)			Tel		
	家族住所 〒	Tel					
家族の総人数 名 (本人 + 就学者 名 + 就学者以外 名)							
就学者を除く家族(別居独立の生計を営む兄弟姉妹等を記入する必要はありません。)							
続柄		本人	父	母			
氏名							
年齢		才	才	才	才	才	
職業(勤務先)							
勤続年数		年 ヶ月	年 ヶ月	年 ヶ月	年 ヶ月	年 ヶ月	
収入状況	給与						
	年金						
	児童扶養手当金						
	失業給付金						
	生活保護扶助料						
	その他(児童手当、傷病手当金等)						
	収入金額計						
所得状況	所得(農・商・他)						
	その他( )						
	臨時	退職金					
	時	保険金					
		その他( )					
所得金額計							
本人以外の就学者					国立学校就学者のみ記入が必要		
続柄	氏名	年齢	学年	学校名	通学区別	授業料年額 前年度減免状況	
				国公立	自宅・自宅外	円 前(半・全):後(半・全)	
				国公立	自宅・自宅外	円 前(半・全):後(半・全)	
				国公立	自宅・自宅外	円 前(半・全):後(半・全)	
				国公立	自宅・自宅外	円 前(半・全):後(半・全)	
特別事由	該当する番号に○印をつけてください。			該当の内容		備考	特別な支出額
	1	母子・父子世帯		母 / 父 (別離者に○印) 生別 / 死別 (該当に○印)		<input type="checkbox"/> 養育費無し <input type="checkbox"/> 養育費有り 年額 円	/
	2	生活保護世帯					
	3	障がい者のいる世帯		氏名 続柄		手帳交付 <input type="checkbox"/> 有り <input type="checkbox"/> 無し	/
	4	長期(6ヶ月以上)療養者のいる世帯		氏名 続柄 療養始 年 月~			
	5	学資負担者が別居している世帯		別居者			円
	6	災害を受けた世帯(過去6ヶ月間)					円
	7	その他の場合					
※ 学校記入欄						入力済	
成績		可/不可	/	人中	点	( )	

# 家庭調書の書き方

## 今までの申請欄について

今までの申請状況について、該当する所に○をつけてください。

## 家族について

- 「家族」は、同居・別居を問わず、申請者と生計を一にする人全員を記入してください。
  - 別居独立の生計を営む兄弟姉妹や、生計を一にしない別居の祖父母等別生計の人を記入する必要はありません。
  - 就学者は「就学者」欄に記入してください。
- 「年齢」は4.1現在で記入してください。
- 「職業」は、例えば「商業」などとせず、食料品小売商、洋服仕立業、国家公務員、地方公務員、小学校教諭、会社員などと記入してください。なお、主婦、家事手伝い、無職等もその旨記入し、空欄にしないでください。
- 「勤務先」は、〇〇商店、〇〇会社、〇〇市立〇〇小学校、などのように記入してください。なお、自営業等の事業主、会社の役員の場合は〇〇商店経営、〇〇会社社長・代表取締役などと記入してください。

## 「収入状況」欄

- 収入金額(税込)には、給料・賞与・遺族の扶助料・年金・恩給・専従者給与・傷病手当金・生活保護法による扶助料・失業給付金を含みます。
- 収入金額とは所得証明書の「給与収入」にあたります。
- 年金については所得証明書の「公的年金収入」欄の金額を記入してください。
- 昨年1月2日以降に就職・転職(開業・転業等を含む。)をした場合は、上記にかかわらず、申請時現在の職業による月収から年間収入または所得を推算した額を該当欄に記入してください。
- 同一人で二つ以上の収入源がある場合は、それぞれ該当欄に記入してください。

## 「所得状況」欄

- 所得(農・商・他)(法人の場合は利益金額)は、年売上高から必要経費を差し引いた金額を記入してください。
- 同族会社の場合は、所得金額には繰越利益剰余金を記入してください。
- 所得金額がマイナスになる場合は、0(ゼロ)円としてください。
- 役員報酬のある場合は、「収入状況」の「給与」欄に記入してください。
- 建設会社等に勤務し、一定の給与を受けている大工・左官等は「収入状況」の「給与」欄に記入してください。
- 出稼ぎによる収入は、長期間(6か月以上)の継続就労で得た収入については「収入状況」の「給与」欄に記入してください。
- 利子・配当・家賃・地代・その他内職・親戚知人からの援助などがあれば、「その他」欄に金額を記入し、( )内に内容を記入してください。

## 「臨時的な所得」欄

- 退職金・生命保険・損害保険等があれば、「臨時」の該当欄に金額を記入してください。
- 退職金・保険金以外の臨時所得があれば、「その他」欄に金額を記入し、( )内に内容を記入してください。

## 「就学者」とは次に在学する人です。

- 小・中・高校・高専・大学(大学院・専攻科・別科を含む)・盲・ろう・養護学校・専修学校(一般課程は除く)
- 各種学校(洋裁学校・予備校)など上記以外の学校に在学する人は、「就学者を除く家族」欄に記入してください。
- 専修学校の場合は、学校名のほか高等課程・専門課程の別を記入してください。
- 小・中学校及び本校学生を除く就学者(国立学校在学者を除く)については、在学証明書を添付してください。
- 本校以外の国立学校在学者については、在学及び授業料免除状況証明書(用紙A)を添付してください。

## 「特別の事由」欄

- 「母子・父子世帯」とは
  - 母又は父と18才未満の子女(18才以上の就学者も18才未満の子女として扱う。)のみの世帯の場合
  - 母又は父及び60才以上の祖父母と18才未満の子女の世帯であって、祖父母に経済力がなく、母又は父が扶養している場合
  - 生別・死別欄に○をしてください。
  - 仕送り(養育費)の有無、金額について記入してください。
- 「障がい者のいる世帯」とは
  - 本人又は家族に身体障がい者もしくは原爆被爆により身体機能に障がいのある人がある場合で、その氏名・続柄・身体障がい者手帳交付の有無を記入し、障がい者手帳の写等を添付してください。
- 「長期療養者のいる世帯」とは
  - 申請時現在、家族に6か月以上にわたる長期療養者がある場合で、その氏名・続柄及び経済的に特別に支出している金額を記入してください。(過去1年以内の支払金額の領収書の写及び高額療養費の交付額のわかるものの写を添付)
- 「学資負担者が別居している場合」とは
  - 父母又は父母に準じて家計を支えている人が出稼ぎ又は勤務地の関係で別居している場合、別居のため特別に支出している年間金額を記入してください。(過去1年以内の住居費・光熱水費の領収書の写を添付)
- 「災害をうけた世帯」とは
  - 申請前6か月以内に風水害等の災害のために将来支出が増大したり収入が減少して、長期(2年以上)にわたり著しく困窮状態に置かれると認められる場合で、次により金額を記入してください。
    - ア. 日常生活を営むために必要な資材に被害があった場合は、最低限度の衣料・家具の購入費・修理費等とする。
    - イ. 生産手段(田・畑・店舗等)に被害があった場合は、長期にわたって収入減を予想される年間金額とする。
    - ウ. 災害等により、保険・損害賠償等の支給、災害援護資金の貸付を受けたときはその金額を所得状況欄に記入のこと。
      - \*単に被害額や復旧費をそのまま記入しないでください。
- 「その他の場合」には1~6以外の特別の事由のある場合、その内容を記入してください。

## 最終ページにある「家庭調書の記入例」の場合、添付書類は、以下のとおりになります。

- 住民票(本人、父、母、祖父、祖母、兄、妹、弟の分)
- 所得証明書(本人、父、母、祖父、祖母、兄、妹、弟の分)
- 母の給与・賞与に関する証明書(用紙B)
- 母の退職金に関する証明書(用紙B)\*1
- 兄の在学及び授業料免除状況証明書(用紙A)
- 妹の在学証明書
- 祖父の障がい者手帳(写)
- 祖母の高額療養費支給額のわかるもの(写)(支払通知書等)
- 祖母の療養費についての領収書(写)\*2及び内訳書(用紙C)(直近1年間分)

\*1 退職金が無いという証明が必要です。

\*2 療養費の領収書は、病院名・患者名・診療科名・点数内訳・診療期間等が明記してあるものがが必要です。単なる金額のみのレシートは医療費の対象となりません。また、食事療養費や保険適用外のものも、対象となりません。  
**必ず、A4サイズの紙に時系列順にしてください。**